

令和6年度「農業祭」開会式にあたって

校長 森 武晴

島原農業高校「農業祭」は、本校一番の大きな学校行事であるのと同時に、地域に深く浸透した恒例のイベント、多くの方々が期待をされている「農業祭」です。「農業祭」は令和元年度まで、2日間の一般公開で開催され、その2日間で毎年6千人から7千人のお客様をお迎えしていました。高校でこれほどの多くの来客がある農業祭、文化祭は、他にありません。

今年度も昨年同様、初日である9日（土）は、一般公開で、皆さんが日頃の学習において栽培、飼育した農産物や実習で製造した加工品の販売、そして、それぞれの科での学習や皆さんの文化的活動の成果を披露する展示発表が予定されています。また、2日目10日（日）には、全校生徒で「農業祭」を楽しみ、お互いが学びあうという企画がなされています。

9日（土）の一般公開では、本校に足を運ばれるお客様に対して、「どのようにお迎えするのか」皆さんの姿勢・所作に注目したいと思っています。先月12日（土）の大手門市イベントに参加した生徒の皆さんは、素晴らしい評価を受けました。また、昨年度の農業祭でも、重い荷物を持たれているお客様に対して、何人もの生徒が、「持ちましようか、駐車場までお運びしますよ。」と声をかけてくれていました。当然、ここにいる皆さん全員、このようにできるはずです。

本校の「農業祭」は、農産物の収穫を祝い、喜び、感謝するとともに、皆さんの学習の成果や各部での活動を展示、実演・販売という目に見える形でお客様に披露する場です。

これからの社会を生きていく皆さんは、自分が身に付けたことを、人にわかりやすく、伝える力が求められています。どうすれば、来校されるお客様に、皆さんが島農の学びで、「学んだこと、なしえたこと」を伝えることができるか、そして、皆さんの学びを目にした、手にしたお客様が「満足されるか」、「喜んでいただけるか」を皆さんそれぞれが、感じて、行動に移し、「笑顔」・「挨拶」・「気配り」・「おもてなし」で、そのことを示してください。皆さんの、島農生の「想い」のこもった応対を期待しています。

これまでの準備は、とても大変だったと思います。農業祭当日も大変です。大変ですが、こうした場면을体験、経験することが、皆さんをひと回りもふた回りも大きく成長させます。

今年度のテーマである『響け 未来の島農へ ～みんなが主役！ 君が作る農業祭～』のもと、皆さん、それぞれが主役となって、素晴らしい農業祭を作りあげてください。

そして、農業祭のそれぞれの場面で、一人一人が輝いて、成長してください。

それでは、この後の準備、土日の本番に向けて頑張ってください。

令和6年11月（農業祭開会式にて）